

序にかえて

増大特集「細胞表面受容体」をお届けします。一昨年、昨年と「細胞核－構造と機能」, 「細胞の分子構造と機能－核以外の細胞小器官」など細胞構造と機能を集めた増大号を3回続けて編集してまいりましたが、本企画は今回の増大特集で一応の終止符を打つことになりました。

「細胞の構造と機能」はかつて大流行したトピックスでした。その後、各小器官の構造と分子機能が多様な角度から微細に追求されるようになり, 「小器官の構造と機能」といった大まかな把握の仕方は鮮度を失っていきました。本誌では、あえて温故知新とも言うべき方向で今一度小器官の微細構造と分子機能を取り上げましたが、その目標をかつてその概念が流行した時代以後の、しかも国内の研究による進展に光を当てるといふ企画の実現に置いてまいりました。

今回の増大号に関して申しますと, 「今国内で細胞表面の受容体についてどのような研究が進行中なのか」を横断的に把握してみたいという要望にお応えすることになるかと思います。本特集が少しでも読者のお役に立つならば編集者の幸これに過ぎるものではありません。最後に、各執筆者に多大の感謝を表明するものであります。

編集委員一同